

第 2 回 松戸市庁舎整備検討委員会 議事録

1 開催日時

令和 4 年 7 月 5 日（火） 18 時 00 分から 20 時 00 分まで

2 開催場所

オンライン開催

3 出席者等

【委員：13 名】

柳澤 要 委員長
伊藤 正次 副委員長
池澤 龍三 委員
指田 朝久 委員
武石 恵美子 委員
藤村 龍至 委員
藤本 利昭 委員
石田 尚美 委員
入江 和彦 委員
高橋 俊夫 委員
椎橋 孝幸 委員
山口 桂明 委員
関 聡 委員（総務部長）
大塚 滋 委員（財務部長）

【事務局（関係職員）】

総務部 審議監
オフィス・サービス創造課 課長
他 5 名

【傍聴者：13 名】

※うち市議会議員 7 名、報道関係 3 名

【欠席委員：1 名】

指田 朝久 委員

4 次第

- (1) 開会
- (2) 定数報告及び議題等について
- (3) 公開・非公開、撮影の許可の確認
- (4) 松戸市庁舎整備検討委員会傍聴要領の改正案について
- (5) 議題 1：「市庁舎の建替えの必要性について」
- (6) 議題 2：「市民アンケートについて」
- (7) その他
- (8) 閉会

5 議事

(1) 開会

(2) 定数報告及び議題等について

- 委員 14 名のうち 13 名出席。
委員の過半数が出席しており、本委員会が成立することを確認。
- 第 1 回委員会同様、議事録への署名者は入江委員、椎橋委員の 2 名となった。

(3) 公開・非公開、撮影の許可の確認

- 本日の委員会は公開となった。
- 傍聴及び委員会冒頭の撮影が許可された。

(4) 松戸市庁舎整備検討委員会傍聴要領の改正案について

- 松戸市庁舎整備検討委員会傍聴要領の改正案につき説明。原案のとおり承認された。
本日の委員会から傍聴者は、基本的に資料を持ち帰ることが可能となった。

(5) 議題 1：「市庁舎の建替えの必要性について」

- 市庁舎の建替えの必要性について、事務局より説明。
- 本館・新館の建て替えの必要性については異議がないことを確認。
- 議会棟・別館の建て替えの方向性については継続検討となった。

【本館・新館について】

(委員) 一般の建物の場合、 I_s 値 0.6 が建築基準法の最低限のレベルだが、緊急時の拠点となる庁舎の場合はその 1.5 倍の耐震性が求められる。現庁舎を今のままそのレベルまで補強するのは技術的にも難しく、3 層減築したうえでの制震補強という案も現実味がないので、改修という方向は難しいと思う。

(委員) 職員がいながらにして庁舎の上層部を解体する減築は、業務遂行面・コスト面からも、現実的には難しい。
また、耐震性能の不足により庁舎が倒壊した場合、市役所機能が停止し市民へ多大な影響が出るので、真剣に建て替えについて考えたほうがよい。
建て替えにあたっては、大きさも含めて市民サービスをしっかり考えながらサイズ感を考えなければいけない。

【議会棟・別館について】

(委員) 本館・新館のように急ぎでやらなければならないもの、議会棟・別館のように少し時間をかけてもよいものを分けて議論すべき。市の予算にも制約があり、一気にすべて建て替えるのは非現実的である。

議会棟、別館をどのように活用していくのかの議論も重要。

- (委員) 本館・新館を建て替えることになるということで、別館・議会棟を活用するにしても建て替え・改修するにしても、どのような機能を配置するかトータルで考える必要がある。
- 外部の借り上げ庁舎も含めて、どのような建物にどのように配置するかをトータルで検討すべきでは。
- (事務局) 欠席委員からヒアリングした意見を報告。
- ・一般的な建物の寿命は税法上の耐用年数と考えるが、設備の老朽化に伴う改修費用などを加味してライフサイクルコストの比較をすることが必要ではないか。
 - ・老朽化対応としては、バリアフリー化や空調設備、非常用設備等の更新が必要。
 - ・ファシリティマネジメントの観点からは、現施設を活用することも考え方の1つだが、防災の観点からは、一時的にコストはかかるにせよ建て替えることも選択肢になる。
- (委員) 議会棟のIs値は0.71、別館は新耐震基準なので、現行の建物は使い方によっては使えるが、市民サービスの提供場所としては考えにくい。本館・新館を建て直してどの程度の機能を集約できるか、にもよると感じる。
- (事務局) 頂いたご意見を整理して、取りまとめ次第、次回以降報告したい。

(6) 議題2：「市民アンケートについて」

- ・市民アンケートの実施結果について、「市役所のあり方・機能等検討業務委託」の委託先である株式会社日本総合研究所より説明。
- ・今後の検討の進め方について、事務局より説明。
- ・次回以降の委員会で整備候補地についても事務局から説明し、整備候補地のイメージを持ちながら議論することとなった。

【質問】

- (委員) 今後の検討の進め方について確認したい。
- 地域防災の機能の検討にあたっては、想定される市役所の整備場所とセットでないと議論が深まっていかないのではないかと。そのほかのテーマについても少なからず整備場所が影響すると思うが、いかがか。
- (事務局) 本検討委員会は、「場所に関係なく、市役所、機能について検討する」ことを趣旨に設置されたものだが、委員の皆さまから異議がなければ、想定される整備候補地についてご説明したうえで、機能について意見交換をする等の進め方も考えたいと思う。
- (委員) 市役所側で把握している機能別の数値的な情報を、可能な範囲で提示いただけると議論がしやすくなる。どのような手続きを年間何件処理していて、そこに人員が何人投入されているか等について教えてほしい。
- (事務局) 次回委員会に間に合うかはわからないが、できるだけ早く準備したい。

(委員) 庁舎効率化や、維持管理の合理性などについて、経営的な側面で考え議論する予定はあるか。

(事務局) 今後の話として委員長、副委員長とも協議のうえ、そのような観点で議論いただく場を設けたい。諮問に対する中間報告を9月にいただくことになっているが、それ以降の委員会で検討したい。

【意見】

(事務局) 欠席委員からヒアリングした意見を報告。

- ・市役所の規模は人口推計と関連するので、合わせて考えることが必要。
- ・松戸市の立地においては、外国人へのソフト面の対策が必要。
- ・将来の権限移譲に対する物理的余裕が必要。
- ・本庁と支所のあり方については、現敷地と新拠点ゾーンを、本庁と支所のような関係として考えることも選択肢の1つ。その際は、本庁と支所の業務の見直しと合わせて考えることが必要。
- ・事務所部門と市民サービス部門はセキュリティの観点から区別したほうがよい。
- ・情報セキュリティに関して必要なコストはかける必要がある。

(委員) 相談業務を行っている中で、現場での相談で済む内容と、市役所までわざわざ出向かないといけない内容があり、その辺りが今後どうなっていくのか、今後の市役所を考えるうえでは大事だと感じている。

また、市役所が松戸市民にとっての憩いの場や身近に感じられる場所になる、という考えも大事だと思う。

(委員) アンケート回答者で最も多いのが70代以上の方だったので、単純集計結果では偏りが出る可能性がある。次回はクロス集計結果で年代別の傾向を見てみたい。

また、最近の肌感覚として、庁舎で見かける海外の方が多い印象がある。海外の方の来庁目的が調べられれば、海外の人たちに向けての市役所のあり方が分かるのではないか。

(7) その他

- ・職員アンケートの結果についても後日委員会で報告予定。
- ・次回委員会は7/11(月)14:00からオンラインで開催。内容は、行政のDXに伴う今後の市役所機能をテーマに、本市のデジタル化の進捗と、市民アンケート結果のクロス集計結果を報告予定。

(8) 閉会

以上